全幼研　地域活性事業　出前講演会IN佐賀　２０２５年11月22日

「小さな気付きを理解と対応に変える」
ー 発達特性を知る ー

聖マリアンナ医科大　神経精神科学教室
小野　和哉

令和７年度の地域活性事業は、佐賀支部の学校法人藤影幼稚園ふじかげこども園（浄照寺本堂）を会場に佐賀・東京・滋賀・兵庫からの参加者４５名で開催いたしました。昨年に引き続き、本会理事の小野和哉先生のご講演を伺い、その後グループに分かれてのディスカッションはどのグループも話が盛り上がり、途切れることなく参加者の意見交換が続きました。

参加された先生方は、日頃の保育の中で多様な子どもたちの対応に苦慮していることが多く、質問が次々出されました。それに対して小野先生が丁寧にお答えくださったので、「なるほど！そうしてみよう。そう考えればいいのか」と納得でき、心が軽くなったのではないでしょうか。

Ａ：就学に際して、普通学級入学が難しいと予想される子どもに対して、園からは特別支援学校の見学や入学に対して話を進めることはできない。
Ｑ：園での状況を記録して保護者に提供しておき、入学後につながるように「種まき」をしておく。
Ａ：保護者が迎えに来ても家に帰りたがらない子どもがいる。
Ｑ：「家に帰ったらよいことがある」という想定を作る。愛情表現のできない保護者には子どもに掛けるセリフを書いたマニュアルを渡すなどもできる。

この他にも心にすっと落ちるお話をたくさん伺いました。２月の広報「若竹」を楽しみにしていてください。会場準備等してくださった佐賀支部の皆様、ありがとうございました。

理事長　福井　直美